

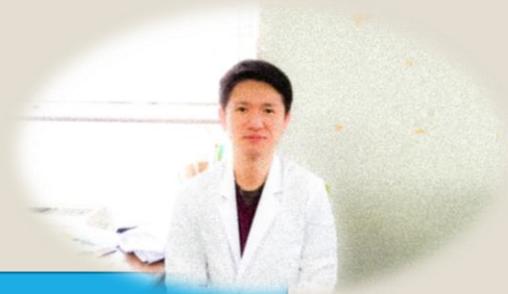


私は群大病院で初期研修後、群大病院皮膚科へ入局しました。大学病院では外来での診断から、その後の専門的な治療まで関わることができ、また県内中の皮膚疾患が集まるため、様々な疾患を経験することができます。バランスの良い皮膚科医になるためにはとても良い研修先だと思います。

ぜひ一緒に働きましょう。

後期研修医2年 西尾

# 来たれ、皮膚科へ ～先輩研修医からの メッセージ～



長く短い人生で、成し遂げたい夢は数多くあるかもしれませんが、すべて叶えることは難しいかと思います。

皮膚科医になりたいと考えているあなた！当科で夢の一つを叶えて下さい。

ご興味のある先生方、是非一度見学へお越しください。

後期研修医3年 金

皮膚は人体最大の臓器とよく言いますが、皮膚を通して全身を見渡すことができるのが皮膚科の魅力です。

そして、皮膚科を通じて多様な医師人生を想像することができるのは、さらなる魅力です。

一緒に楽しみましょう！

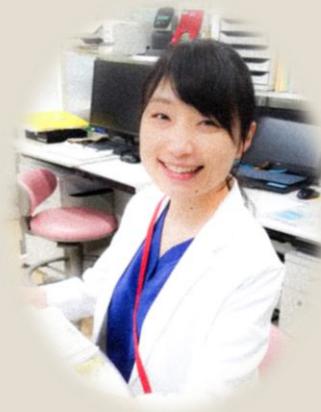
後期研修医2年 小坂



後期研修医説明会  
皮膚科ブースで  
お待ちしております！

後期研修医1年 木村  
病棟医長・皮膚科医会長 安田  
副病棟医長 遠藤

皮膚科説明会では  
大学病院・大学院の医師が多数  
出席します。  
ぜひ来てください！  
助教 関口



これより、研修医の先生へ  
皮膚科・群大皮膚科の魅力を  
詳しく説明します！  
診療教授 茂木



8月22日(土)

13:30-  
合同後期研修  
医説明会

15:30-  
皮膚科説明会

群馬大学医学部臨床大講堂

皮膚科のこと、もっと  
知ってほしい！

現役皮膚科医の「生」  
の声をお伝えします。  
どなた様も、お気軽に  
お越しください♪

アクセス↓

<https://www.gunma-u.ac.jp/access/g3056>



お待ちしております！

# 研修医の先生へのメッセージ



群馬大学大学院医学系研究科 皮膚科学 診療教授 茂木 精一郎

皮膚科では、「内科」と「外科」の両方の仕事を行うことができます。加えて、「病理」も学びます。すなわち診断から治療まで一貫して行うことができます。

群馬大学皮膚科では、「アトピー性皮膚炎、乾癬、水疱症、薬疹などの皮膚免疫性疾患」や「強皮症、皮膚筋炎などの膠原病に伴う皮膚病変」といった内科的皮膚疾患と、「皮膚良性・悪性腫瘍」を含む外科的皮膚疾患を数多く診療・治療し、さらに、これらの疾患の研究もバランスよく行っていると自負しております。

これを反映して、数多くの専門外来があります。また、入院数、病床数も国内で上位に入っております。外来回診(週に1回)、病棟回診(週に2回)、病理組織カンファレンス(週に1回)を定期的に行っており、診断・治療に対する十分な意見交換、勉強をすることができます。また、研修医に対して助教以上の指導医による皮膚科セミナー(講義)を定期的に行っております。当科では、これらの充実したプログラムを研修することが可能です。

専門医を習得するための認定施設(石井病院、伊勢崎市民病院、太田記念病院、桐生厚生総合病院、藤岡総合病院、群馬中央病院、前橋赤十字病院、佐野厚生総合病院、国際医療福祉大学病院)も含めて、関連病院が群馬県、栃木県内に数多くあります。これらの施設には、全国的にも実績のある有名な先生が所属しており、充実した臨床経験を積むことができます。

研究(基礎研究、臨床研究)をしてみたいと考えている方も歓迎しております。大学院に進学した場合、十分な時間を研究に当てることができます。大学院に進学しない場合でも、臨床業務を行いながら基礎研究、臨床研究に従事できるように指導しています。

当科には女性の医師が数多く在籍しており、みなさんイキイキと活躍しています。出産、子育てによって仕事が中断してしまっても復帰しやすい環境作りに配慮しています。子育てをしながらも働くことができるようなシステムである群馬大学病院の「医師ワークライフ支援プログラム」(<http://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/fdsp/>)を活用しています。

群馬大学皮膚科のホームページやFacebookにて当科の活動を報告しておりますので、ぜひご覧になってください。

**2021年度は既に1名の新入会員が決まっており、他にも数多くの研修医の先生が興味を持っていただいておりますので、入会希望の先生は早めにお知らせください。**



# 内科も外科もできる魅力

- 皮膚科には内科も外科もある。

ほぼ全ての診断(例:病理)、診療(例:アレルギー、手術、がん)領域と関わりがあり、それは今後も変わらない。

皮膚科  
内科 外科 病理  
全てある！

内科 > 外科  
内科 = 外科  
外科 > 内科  
いろいろなパターンあり

- 診断から治療に至るまで一貫して自分の手で行うことができる。
- 美容皮膚科や抗加齢皮膚科学も！
- 老若男女問わず全ての人が診察対象
- 幅広く学びつつ、自分の好きな分野を極めることもできる。

### 内科的疾患

アトピー性皮膚炎、乾癬、膠原病  
水疱症、皮膚感染症、蕁麻疹など



### 外科的疾患（皮膚外科学）

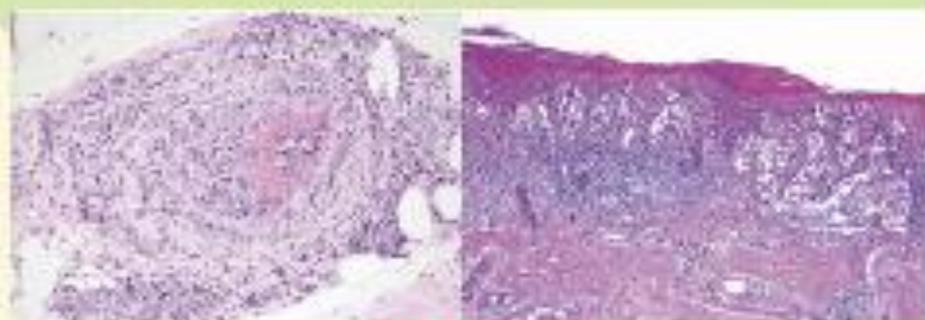
悪性黒色腫、基底細胞癌、有棘細胞癌  
血管肉腫、乳房外パジェット病など



美容  
皮膚科学

皮膚科は  
皮膚の総合科学

抗加齢  
皮膚科学



皮膚病理学

# 疾患としての皮膚科の最大の特徴

## 「病気が眼で見える」

- 治療効果を見て確認できるため、分かりやすく、やりがいを感じる。
- **病変部の組織を取りやすい。**（最も症状の強いところを調べることができる）  
病理組織によって、病変部で何が起きているのかが分かる！

「この赤くなっているところでは何が起きているのだろうか？」



病変部の皮膚を生検



**病変部で起きていることがすぐに分かる！**

リンパ球・好酸球などの浸潤細胞の種類、病変がどこで起きているのか？  
自己抗体・サイトカインの関与などたくさんの情報を得ることができる。

病変部で起きていることが分かれば、最適な治療法につながる。

皮膚科では新しい治療法がたくさん出てくる！

# 「皮膚は内臓をうつす鏡」

皮膚症状によって隠れた内臓異常を早期に発見し、  
早期に治療を開始できる。

皮膚科医による診療の重要性



内臓異常を早期に発見

間質性肺炎は？

悪性腫瘍は？

皮膚科の臨床は皮膚科を専門として研修を受けた  
医師にしかできないことであり  
強い「専門性」を持っています。

- 病歴
- 検査値（血液検査、画像検査など）

▽ 皮膚科医は、さらに情報を取得できる

- 皮膚病変
- 病理

皮膚科医



病歴や検査値からでは診断がつかない場合も、、、  
診断・治療できる。



皮膚病変から診断！  
すぐに治療開始！

# 皮膚科では研究がさかんで、新しいことが どんどん解明されている。

- **幅広い分野の研究領域がある！**  
(内科的、外科的疾患、病理など多岐に)
- 新しい治療薬がどんどんでてくる。
- 治療の選択肢が多く、やりがいがある。

新しい治療法・治療薬がたくさん出てくるため、  
新しい知識・技術を勉強せずに、古い治療法だけを行っている  
のではついていけなくなる。



若手のうちから活躍できるチャンスが多い

## ほかにも

- 皮膚科には**臨床・研究・家庭を両立しやすい**環境がある。
- 幅広い分野の臨床領域があり、それぞれに学会が開催されるために、**学会がたくさんある！**  
(内科的、外科的疾患、病理、美容、研究など多岐にわたって学会、研究会があるため)
- **全国の皮膚科医は大学間、施設間を超えて仲がいい！**



これからの皮膚科学を背負って立つ  
皆様の  
入会をお待ちしております。